



ZERO CUBE MALIBU

●ゼロキューブ・マリブ



mini-prot Exz

●ミニプロト・エグゼ



coco-tique

●ココ・ティーク

住まいのカタチ、暮らしのカタチ。
ライフスタイルが家をつくる。
ウィル・インテリアコーディネーターの仕事

ウィルのモデルハウスは家だけでなく、「暮らしの場所」として家を見せるインテリアも注目の点。この演出に携わる同社・インテリアコーディネーターの増野尚美さんに作り手側の想いやそれぞれのモデルハウスの特徴を訊く。

「意外に思われるかもしれませんが、まず、弊社が扱う建物の根底にあるのは「シンプル」というもの。お客様の生き方を含めたライフスタイルを落とし込んでいくのが住まいですから、土台となる家はシンプルであることが欠かせない要素にあります。モデルハウスは、そこにたとえこういう家族構成で、こういう趣味があって、という設定を作り、組み立てていきます。」

それぞれのモデルハウスにはコンセプトがあります。ココ・ティークは経年変化を楽しむ家。どのモデルも、まっさらな空間に暮らしを描いていく工程は一緒ですが、ココ・ティークは特に「白いキャンパス」そのもののイメージで、その美しいキャンパスをより美しくみせるコーディネートが楽しいですね。家具は本物のビンテージにするなど、雰囲気にも調和するものを吟味しています。その対極にあるのがゼロキューブ・マリブです。カリフォルニア工務店

とのコラボ、西海岸岸というキーワードがあって、なにより遊び心が大切。アウトドアの要素を取り込むなど、コンセプトに沿うよう、家具で味付けをしていくイメージです。選んだ家具の中で、リビングのアニメ地のソファは特に思い入れが強いアイテムです。

ミニプロト・エグゼは変幻自在な家。いろいろな要素が詰まっている家で、旬でありスタンダードでもある。現在公開中のモデルでは、アイアンを使った家具などで、男前、武骨、というテイストもふんだんに入れ込んでいます。

それぞれの家ごとに、全力で良いものにしていくという想いがある。それが過去から今へ脈々とつながっているのがウィルのモデルハウスです。今月には、ゼロ・キューブの新モデルが時任町にオープンします。これまででふまえた、これからの最新モデル、ぜひぜひご覧ください。もちろん、家具や照明もご参考にしていただける所がたくさんあると思います。」



INFORMATION
【ZERO-CUBE MALIBU】【mini-prot Exz】【coco-tique】3棟同時公開中！
at 石川町緑ヶ丘ニュータウン（土日祝 10：00～17：00）

時任町新分譲住宅6月オープン！
※オープンハウスの詳細、そのほか宅地等に関する情報は、HP、フェイスブックにて観覧更新中です。【<http://iewill.jp>】

Planning of real estate
Will
【株式会社 不動産企画ウィル】
〒040-0003 北海道函館市松崎町 18-36
TEL.0138-35-6235
E-mail:info@iewill.jp URL:<http://iewill.jp>